

## 2026年4月設置予定 デジタルメディア学部(仮称)、工学部 ロボティクス学科(仮称) 健康科学部 臨床工学科(仮称)について

時代を切り拓いてきた研究者と多様な人と創造的につながる新たな学びを推進します！

京都橘大学（学長：日比野英子）では、2026年4月に、デジタルメディア学部(仮称)、工学部 ロボティクス学科(仮称)、健康科学部 臨床工学科(仮称)を設置予定です。

2021年の工学部設置を皮切りに、2024年には情報学研究科を開設し、AI時代の社会課題解決に寄与できる人材の養成に注力しています。2026年の新学部・学科開設に向けて2024年には人工知能（AI）の第一人者である、松原 仁教授が着任するなど、今後、多様な専門を持つ教員約40名が着任予定です。

また新たな教育研究拠点として、地上8階建、地下1階の新教育棟を建設します。最新の機器を導入し、テクノロジーとアイデアを創出する教育棟をめざしています。これまで以上に情報学分野の充実を軸に、文理横断的教育・研究や通信・メディア教育の拡充を行い、新しい社会価値創造の担い手を養成したいと考えています。

### ●デジタルメディア学部（仮称）について

構想段階では工学部の新学科として設置予定でしたが、社会的なニーズと人材養成目標をふまえ、デジタルメディア学部（通学課程・通信教育課程が併設）として設置する予定です。

デジタルメディア学部では、理系学生だけでなく、文系学生も対象とし、カリキュラムはエンジニア系とクリエイトの双方の学びを往還する内容となっています。アニメーションやゲーム、音楽、マンガなど、日本が誇るカルチャーにおいて次世代のコンテンツやシステムを創造できるクリエイターやITエンジニアを育てます。

### ●ロボティクス学科（仮称）について

ロボティクス学科では、機械工学、電気電子工学、計測・制御工学、情報工学・AIなどの分野を複合的に学び、機械、ロボット、各種メーカー、情報産業など幅広い分野で活躍できる人材を養成します。ロボットの「開発」だけでなく、ロボットを「動かす」「活用」の両面を備えた教育を行うことで、人口減少や技術革新により急増する業務の自動化・機械化のニーズへ対応します。

### ●臨床工学科（仮称）について

臨床工学科では、国内の医療現場を医工学で支える次世代の臨床工学技士や、メディカルエンジニアを養成します。国家資格である臨床工学技士免許の資格取得はもちろんのこと、臨床工学技士としての可能性をさらに押し上げる医工連携や情報系の発展科目も充実。さらに、看護学科、理学療法学科、作業療法学科、救急救命学科、臨床検査学科を擁する、京都橘大学の強みを生かした、医療職間連携のチーム医療を学びます。



## デジタルメディア学部デジタルメディア学科（仮称）

## ▼概要

入学定員：100名（通学課程）、180名（通信教育課程）

## 学科の内容：

【エンジニアリング×クリエイションを実現できる人材を養成】

文理問わず全員がプログラミング等の情報系の知識・技能とデザインの基礎を習得したうえで、ビジュアル・サウンド・ゲームそれぞれのエンジニア系・クリエイション系の分野を自分の志向に応じて学びます。

## 想定進路：

CGエンジニア、2D・3DCGクリエイター、画像・音声処理エンジニア、ゲームプログラマー、ゲームデザイナー、音響エンジニア、作曲家・アレンジャー、情報関連企業、各種一般企業情報部門のシステムエンジニア・プログラマーなど

## 工学部ロボティクス学科（仮称）

## ▼概要

入学定員：80名

## 学科の内容：

【ロボット開発×ロボット活用の両面教育】

機械工学と情報工学等の知識・技術を統合したロボティクス技術者を養成します。伝統的な機械工学だけでなく、AIやヒューマンロボットインタラクションまで知識を深め、ロボットを作り、動かし、人間社会で活用するために必要な専門領域（機械系、電気・電子系、計測・制御系、情報系）を学んでいきます。

## 想定進路：

ロボットエンジニア、CADエンジニア、画像・音声処理エンジニア、SE・プログラマー、情報関連企業、各種一般企業情報部門のシステムエンジニア・プログラマーなど

## 健康科学部臨床工学科（仮称）

## ▼概要

入学定員：40名

## 学科の内容：

【臨床工学技士免許取得に加え臨床工学技士としての可能性をさらに広げる教育の実現】

関西最大級の医療系教育を行う京都橘が高度化・多様化する医療に貢献する臨床工学技士を養成します。医療系他学科（看護、理学療法、作業療法、救急救命、臨床検査）とのチーム医療教育や医工連携、情報系の発展科目を用意。また経済学科、経営学科を中心とした、クロスオーバー教育（合同授業）を行い、免許取得だけではない高次スキルを習得した人材を養成します。

## 想定進路：

臨床工学技士免許は全員取得を目指し、その上で医療機関内でのDXリーダーや医療機器メーカーでの開発者・MR、将来的な病院管理者など